

京都産業大学 むすびわざプロジェクト in あやべ

経済学部 寺崎ゼミナール3年生

『綾部市の魅力を伝えるPR動画の作成と発信』

- 指導責任者:京都産業大学経済学部教授 寺崎友芳
- 連携市町村:綾部市
- 京都府内の活動地域:綾部市
- 取り組んだ課題と成果

綾部市の魅力を伝える動画を学生目線で作成して発信するとともに、視聴解析を行うことで視聴回数を増やすための示唆を得ました。

1. PR動画の作成と効果の検証

【取り組んだ課題】

綾部市の知名度の向上、入込客数の増加という課題に対して、学生目線で綾部市の観光資源を発掘、体験し、その様子を動画にまとめ、Instagram、TikTok、YouTube に投稿し、視聴動向を解析することが有効だと考えました。

そこで、9月と10月に綾部市内の観光名所を回り、実際に体験して動画を撮影しました。その後、撮影した動画にマッチしたBGMの選定、キャプションの追加などの編集作業を行い、11月に Youtube に投稿しました。

【動画の紹介】



投稿動画一覧



【成果と課題】

農家民泊やキャンプ体験、仏像彫刻体験など計11本の動画を編集、投稿することができました。動画を公開してからの3週間の総視聴回数はInstagram で 2712 回、Tiktok で 2487 回、Youtube で 959 回でした。Instagram はリール動画が効果的、TikTok は 10～20 代がターゲット層、YouTube は視聴者の約 5 割が 45 歳以上などの特徴があることが分かりました。また、おすすめに取り上げられて視聴したくなるようなタイトル、サムネイルを工夫することがポイントだと思いました。

【実施者の思い】

「綾部市でフィールドワークを行い、そこで感じた良さを発信するという経験をこれからの人生に活かしていきたいです」「自分たちだけではなく、地元の方に協力して頂き、コミュニケーションを取りながら動くことで大きく成長できたと感じます」

2. 食育を通じた綾部の特産品の PR

【取り組んだ課題】

11月17日に綾部市里山交流研修センターにて近隣住民を招いて地域食堂を開催しました。近隣の小学生・保護者20名が参加し、学生とともに綾部市産の味噌、米、米粉についての食育をクイズ形式で実施したのち、豚汁と焼きおにぎりとクレープを子供たちとともに調理して試食しました。また、その様子を動画で撮影、編集し、Instagram、TikTok、YouTube に投稿して綾部の食材についてPRしました。

【動画の紹介】



紹介動画(60 秒)



【成果と課題】

地域食堂参加者へのアンケートでは、回答者全員が「また参加したい」「家でも作りたい」と回答しており、食育の効果はあったと考えられます。また、「普段米を食べない子供が焼きおにぎりをおかわりしていた」との保護者の声があり、自分で調理することで、地元産の食材への愛着を育むことができたと思います。

【実施者の思い】

「生産者の方へのインタビューを行い、生産者の方の思いを子供たちに伝えられたことは貴重な経験だったと感じています」「地域食堂では、地域の方々や関係者の方々など本当に多くの方達のお陰で無事に開催することができ、私自身にとってとても貴重な経験になりました」